
ネットマーケティング株式会社 御中

Switch スマホ PROJECT

2015.12.25

本日のご提案の目次

1. ふりかえり
2. 私たちが考える「Switchとは」「UIアイデア」
3. ユーザーのスマートフォンの活用の仕方の考え方（案）
4. スケジュール
5. 体制について
6. リジェクトを防ぐには（参考・別資料）
7. おまけ：参考アイデア

1.ふりかえり

理想

- 転職活動をしない、すなわちリスクである。（価値観）
- 様々な選択肢を日々得ることで、より安定的にチャレンジできる。（信念）
- Switchは、ユーザーの人生に“+”の転機を提供する。（思い）

現状

- 転職がオープンではなく、まだ限定的なマーケット。
- いそがしい優秀な人材が、まだまだ転職市場に参加していない → Switchのコアターゲット

課題

- 恒常的な転職活動への意識が薄い。
- 転職活動のハードルが高い。また、そう思われている。

先般のお打ち合わせにおいて、転職活動のハードルが高いと思われている現状についてフィードバック頂きました。

1.ふりかえり

だれに？(現状)

- 年齢：24～35歳（20代が多い印象あり）
- はじめての転職もしくは2回目が大半。
- WEB・IT業界が多い
- キャリアアップ志向があるユーザーが多い
- 「色物好き」＝アーリーアダプターか？
 - 「ほかとはちがう」「新しい」「面白そう」が惹きになっている
- ウェブリテラシーが高い傾向
（Facebook集客もひとつの要因か）
- 6割が営業やマーケティング
- 2割がエンジニア。
- 人気企業の傾向 ①社会的認知度が高く、ステータスがある（ex.DeNA）②エッジの効いた企業文化がある ③スタートアップ系企業
- 決定年収は450万円程度が平均的

今回のスマホ対応では、いちファンである現ユーザーの評価もきわめて重要。
彼らに対して何を伝えるかを重視したい

1.ふりかえり

ターゲットの本音

- 忙しくて転職活動をする時間がない（と思っている）
- 自分の腕を色々なところで試してみたい
- 会社ではなく、業界＆社会がどのように評価しているのか知りたい
- もっともっと自分を高めたい

✓※ただし、自信の裏返しで、いつも自分を高めていなければいけないという不安はある

- 他の会社で雇ってもらえる自信はあるが、転職活動には特に準備はしていない

✓ちょっと準備をした方がいいかもしれないという不安はあり

ターゲットにどのように思われたいか

- 驚くほど簡単に転職活動がはじめられるんだ
- 無駄のない充実した転職活動ができた

✓自分が求めるものや転職したいところが分かっていく、精度が上がっていく感覚

こちらの「本音」は、ユーザーへヒアリングしたものではなく、あくまで、仮で推測したものになります。より確度の高いものにしていく為には、仕要定義フェーズに既存ユーザーに対するインタビューを推奨します。

簡単というのは外せないキーワードになります。と同様に、簡単だけではなく、「充実した」という印象を持ってもらうための工夫があってもいいのではと考えています。

Switchのポリシー、お約束ごと。

- ✓転職活動をシンプルに日常化する。はじめは特に容易。
- ✓クローズドである。オープン＆ソーシャルではない。
- ✓ユーザーは基本的に受け身。良質なスカウトができる。
- ✓目指すは日本版 LinkedIn。

Switchスマホで期待すること。

- ✓シームレスな「Switch」体験の提供
- ✓とくに通知&メッセージやりとりを途切れさせない
- ✓結果、アクティヴ率の向上を期待する

Switchスマホで懸念していること。

- ✓いかにスカウトをスムーズにさばけるか
- ✓読む・入力するが面倒にならないか

私たちが考えるSwitchの捉え方 向かうべきUIの考え方

Switchスマホにあたり、
よりサービスをより高めるためのご提案です。

Switchスマホは、 Skill up Activity Checker

転職ツールではなく、
自分のスキルを常にチェックできるツール。
スキルアップのライン上に転職がある。

👁 Switchの未来

「W」などの競合サービスとの違いを改めて考えていました。

Wはオープン＆アクティブな思想で横に繋がることが大切です。

いっぽうで、Sはクローズド＆パッシブ思想で、いかに深く繋がるかが大切です。

自分自身と向き合った精度の高い情報を入れていくほど、

スカウトやあしあとがくる。それは未知との出会いです。

僕らが連想したのは「禅」「トレーニング」などの概念です。

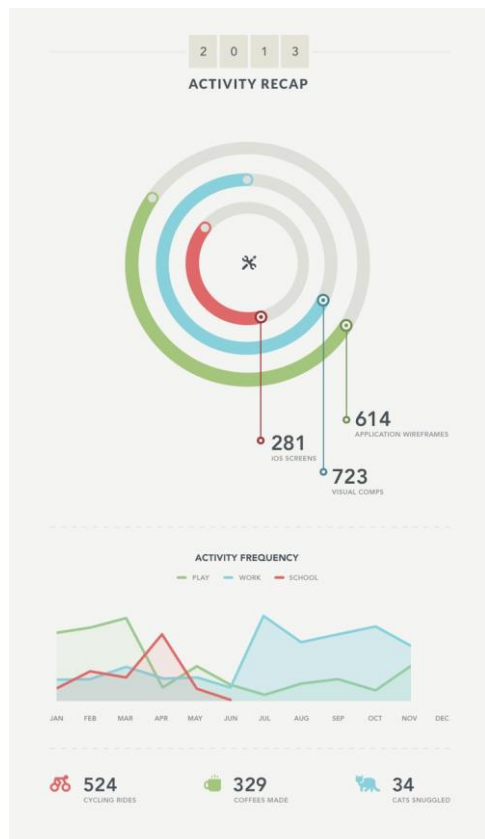
Sのユーザーは、仕事を探したい人ではない。自分を高めたいひとだ。

そのために、Switchがすべきことは、ユーザーの価値感・スキルを、

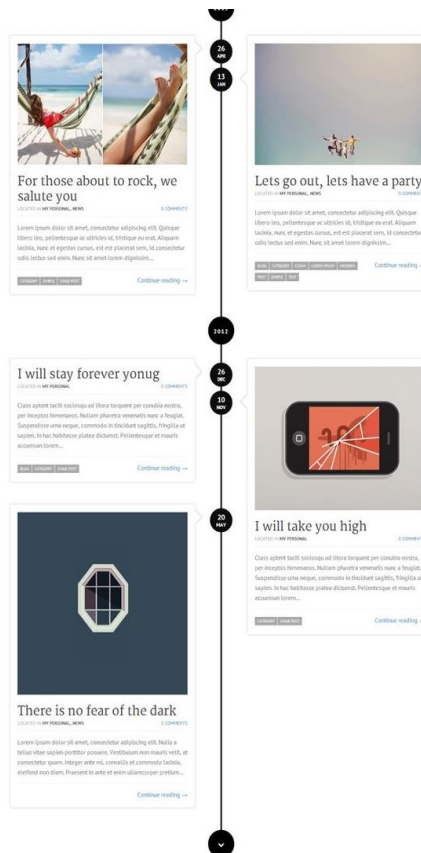
Switchを基準にして高めてSwitchにフィードバックできるしくみづくり。

2. 私たちが考える「Switchとは」「UIアイデア」

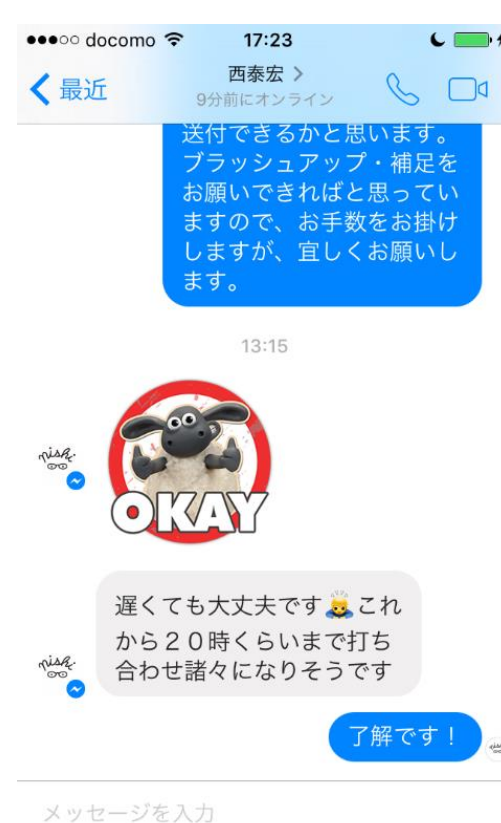
1. Switchスマホは、SKILL UP ACTIVITYをメインにしたUI設計



ACTIVITY STATUS



ACTIVITY Timeline



Switch Messenger

2. 私たちが考える「Switchとは」「UIアイデア」

ACTIVITY Status : アクティビティレベルの可視化。

スカウト数

あしあと数

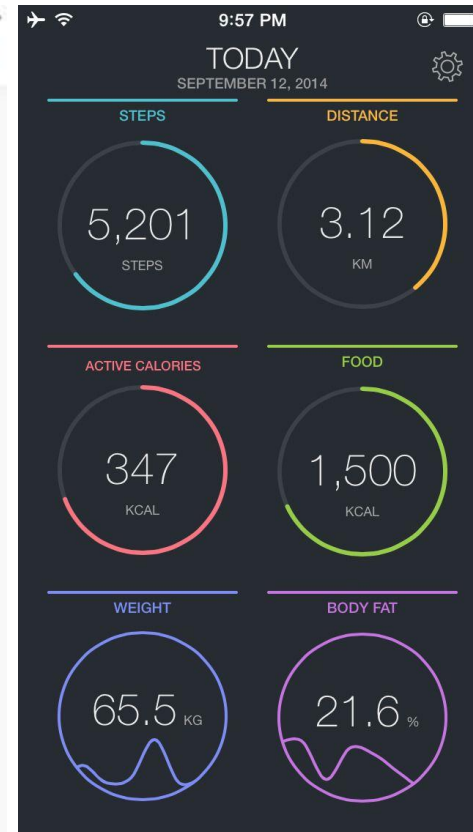
メッセージ数

活動期間数

情報更新数

-
-
-

モチベーションを
あげる仕掛け。



- 目標設定があってもよい。アクションとスカウトの比例を可視化。

2. 私たちが考える「Switchとは」「UIアイデア」

ACTIVITY Timeline タイムラインでskill up activityをすべてストックする。

1, イベント

職歴や検定など

2, アクション

スカウト、あしあと

3, 更新ログ

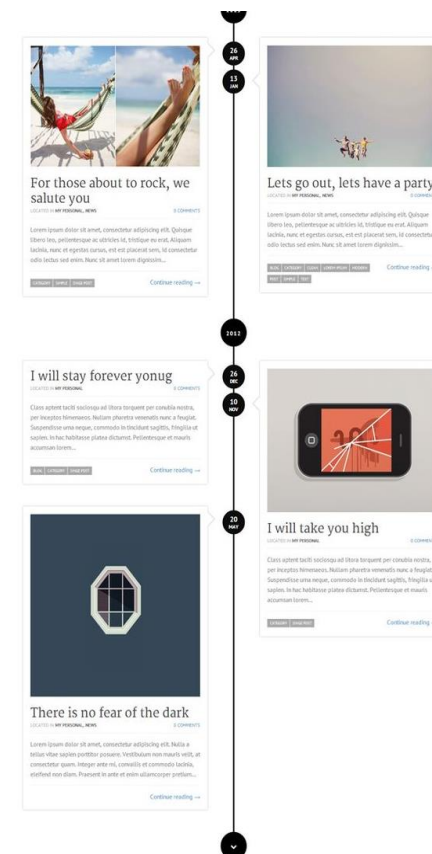
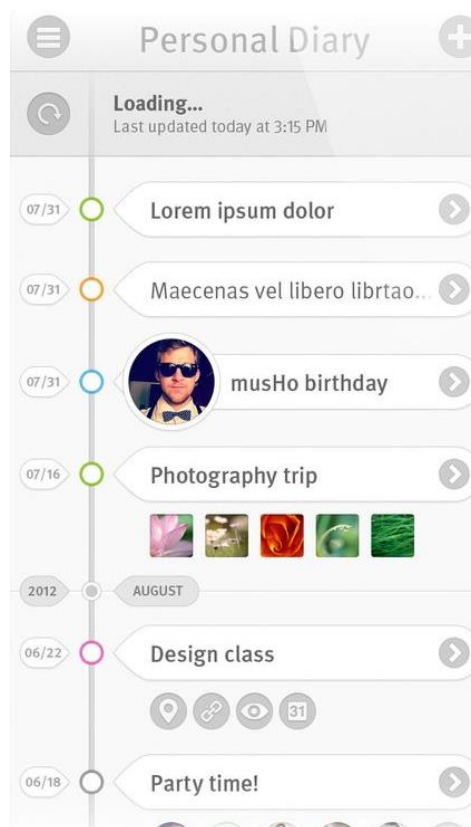
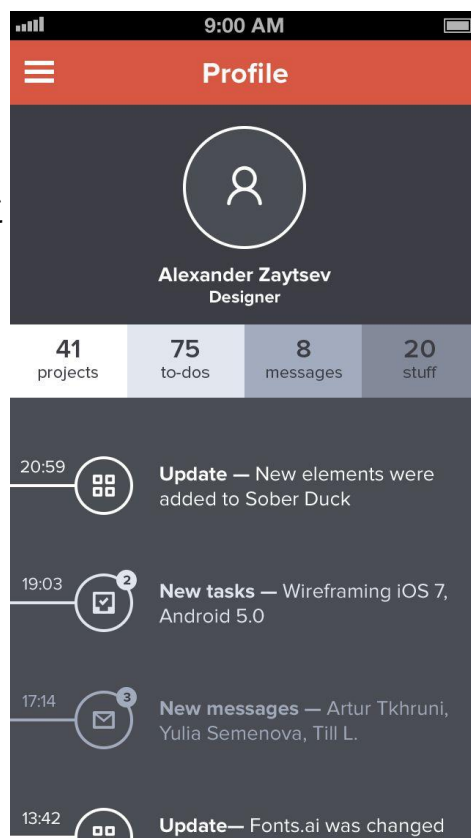
•

•

時系列履歴書。

Switchのログを

一括で確認できる。

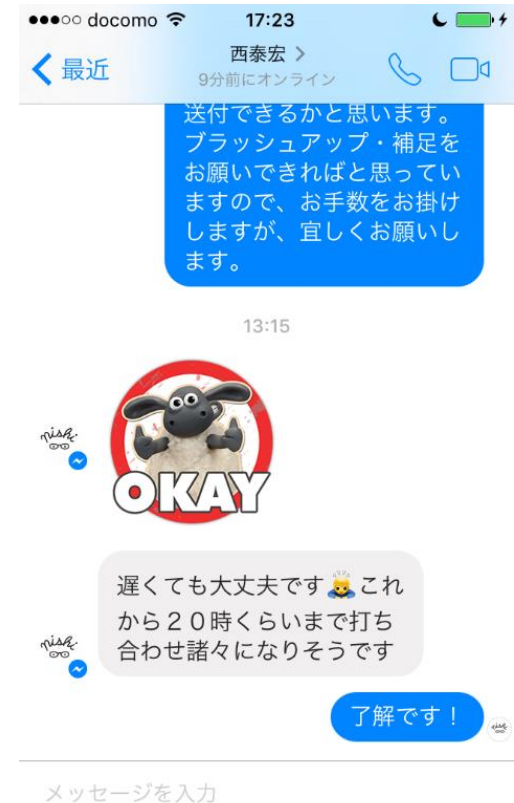
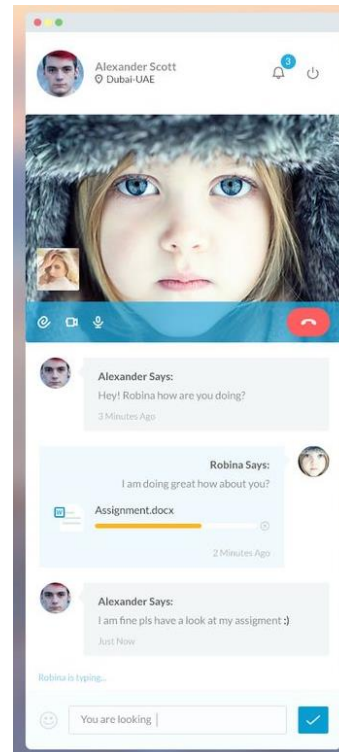


2. 私たちが考える「Switchとは」「UIアイデア」

Switch Messenger

大手MessengerUIを応用し、企業担当とのスムーズなやりとりを目指す。

- 基本的に、Messengerと同じ機能・デザインにしていくことを想定
- 「誰とやりとりをしているかが一覧で分かること」「ステータスが一覧で分かること」「誰？についての詳細にすぐに辿り着けること」が条件
- ただし、情報の優先順位の議論は必要



3.ユーザーのスマートフォンの活用の仕方の方考え方（案）

3.ユーザーのスマートフォンの活用の仕方の考え方（案）

●スマートフォン=情報をアップする手段

- 現在のプロフィールの入力状況を常に可視化
- 情報を入れれば入れるほど、スカウトや足跡数が増えることを可視化する
- 情報入力ペースの理想を選択できるようにすることと、それに合わせたSwitchからのPush連絡
- 入力は事例をコピー＆ペーストして入れて、必要箇所のみ編集する
- メッセージ・スカウトの処理は円滑にできるように

今後の方向性についての提案をさせていただきました。しかし、直近の1月・2月でのスマートフォンデザインの作成に向けては、制約条件は強く意識せざるを得ないかと思います。そのため、現実的に反映が可能そうだと考えていることを基にして、反映イメージをこの後にご説明させていただきます。

とはいえ、スマートフォンは間違いなく、情報を取得するためのデバイスと考えるべきです。スマートフォンで完結ができるサービスでないと大幅な普及はありえないですし、そこにチャレンジをするべきだと思います。

その為には、「いかに入力させないか」と、「Switch側からユーザーに情報を入れようと促す」ことが大事です。

4.スケジュール

●1月4日～20日：仕様定義

- ✓「目指すべきコンセプト（Switchの進化は）」「制約条件の確認」「新規開発する機能の有無」「作成ページとその構成要素の定義」「UIデザインの方向とNGの確認」などを想定しております。
- ✓サイトマップ、ワイヤーフレームの合意を目指す。
- ✓仕様定義後、改めて詳細スケジュールと費用算出のうえ、ご調整させて頂ければ幸いです

●1月20日～2月28日：デザイン作成&コーディング

- ✓「主要ページのデザイン作成」→「下層ページのデザイン作成」→「コーディング」という手順
- ✓1回/週ペースでデザイン・アウトプットおよびコーディングの進行状況などを共有していきます

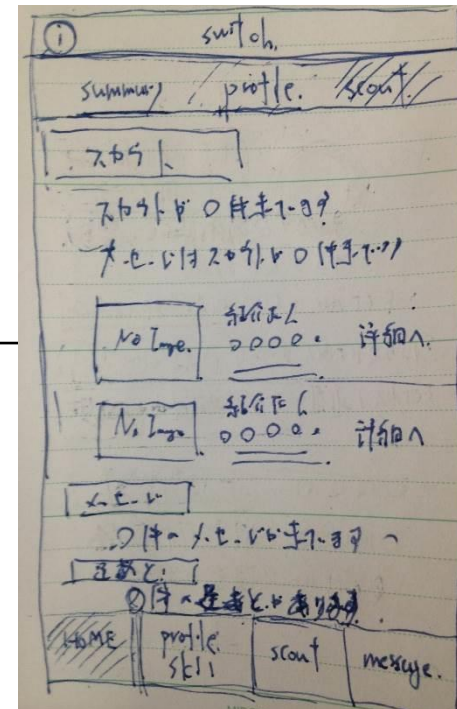
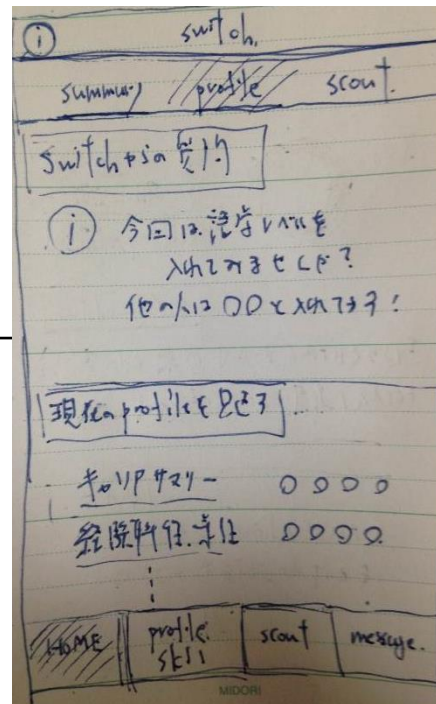
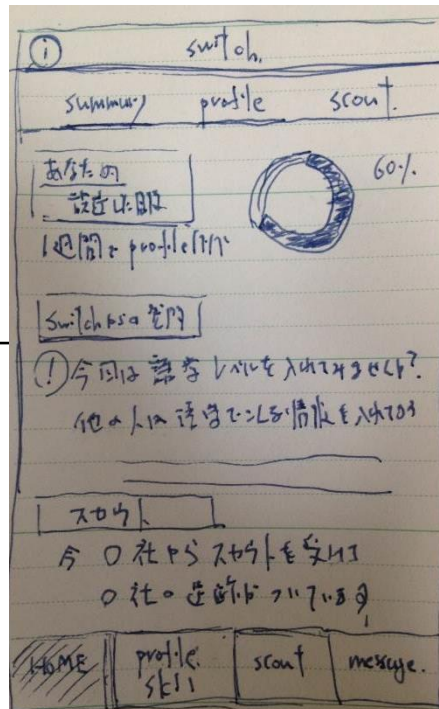
5. ケアリッツチーム体制

ケアリッツチーム

- UIコンセプト&仕様定義：坪井・西・浅井
- デザイン制作：浅井・清水
- コーディング：浅井&外部パートナー（株）セカイネット

アイデア例

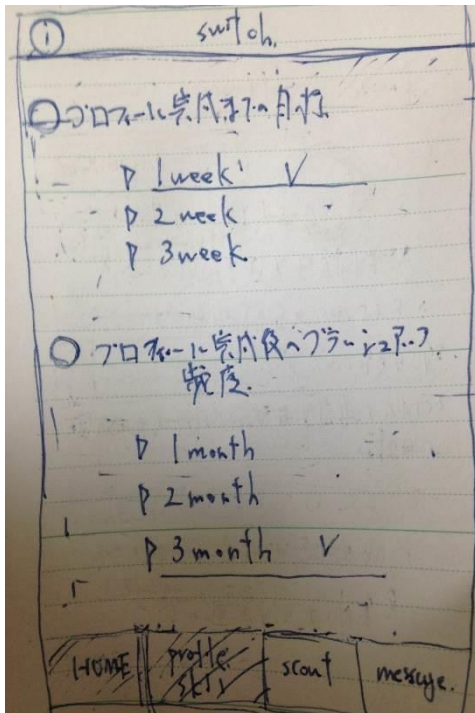
1. アプリを開いた際に、「HOME」が表示され、プロフィール&スカウト状態が一覧で理解できる



- 上記はスワイプで切り替えが可能
- 「HOME」画面を閲覧して、提案されているプロフィール入力orスカウト&メールを確認するアクションをする

アイデア例

2. 情報入力ペースの理想を選択できるようにすることと、それに合わせたSwitchからのPush連絡



プロフィール達成まであと3日です。
是非、次のプロフィールを入力しましょう。
※次のプロフィールは、語学になります。

プロフィールを更新していくタイミングが来ました！
自分のプロフィールを確認して、追記できる項目があれば、
ブラッシュアップをしましょう！

今日は、〇〇の設定をしませんか？
〇〇を設定できれば、〇〇などの会社からのスカウトが入るかもしれ
ません。

- プロフィール完成までの目標、プロフィール完成後のブラッシュアップ頻度が基本的に設定すべき項目かと考えています。それ以外にも、「入力の順番」などいくつか設定の余地があるものあり。

アイデア例

2. 情報入力ペースの理想を選択できるようにすること、それに合わせたSwitchからのPush連絡

③ 「アクティビティ」アプリで「ムーブゴール」を設定する

続けて「ムーブゴール(活動目標)」を設定します。「少しだけ/適度に/とても」のいずれかから1日あたりの「ムーブゴール」を選択できますが、「ムーブゴール」の数値横の「-」「+」をタップすることで目標数値を変更することも可能です。目標数値を表示し、「ムーブ開始」をタップすると初期設定は完了です。

* ムーブゴール(目標数値)は後で変更することが可能です。



1. 「ムーブゴール」を選択します



2. 「ムーブ開始」をタップして、初期設定は完了です



3. 初期設定後は、アクティビティの進捗状況が表示されます

○ 「アクティビティ」アプリからの通知について

Apple Watchの「アクティビティ」アプリからは、「ムーブ」「エクササイズ」「スタンド」の目標達成のための通知を受け取ることができます。

■ 進捗状況アップデート



目標までの現在の進捗状況が通知されます

■ ゴール達成



各目標(ゴール)を達成すると通知が表示されます

■ スタンドリマインダー

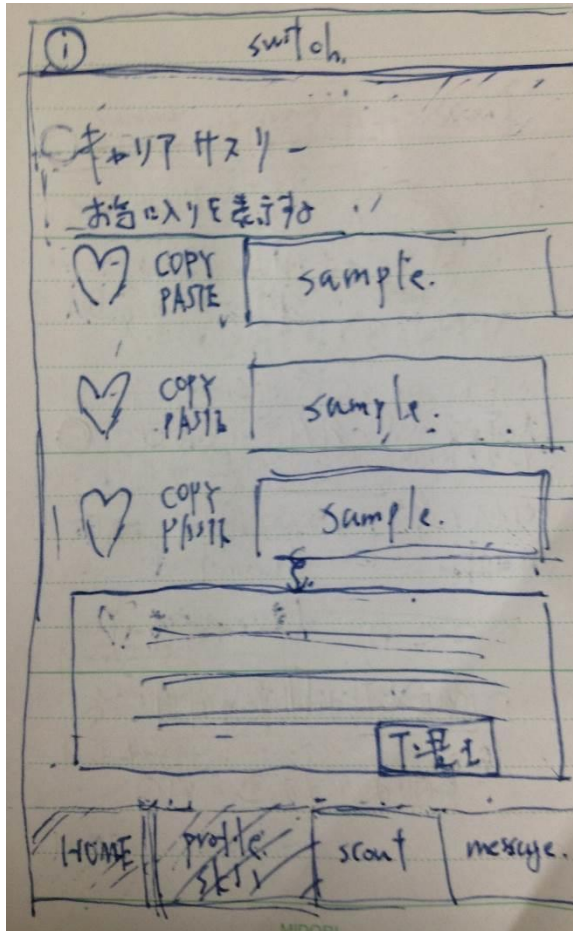


50分座り続けていると、1分間立つよう通知が表示されます

- 上記のように、「どれくらいの情報をアップデートしていくか」を選べるようにしてもいい。また、アプリからの通知としては、進捗のアップデート、進捗に役立つ情報の提供などいくつか考えることができる

アイデア例

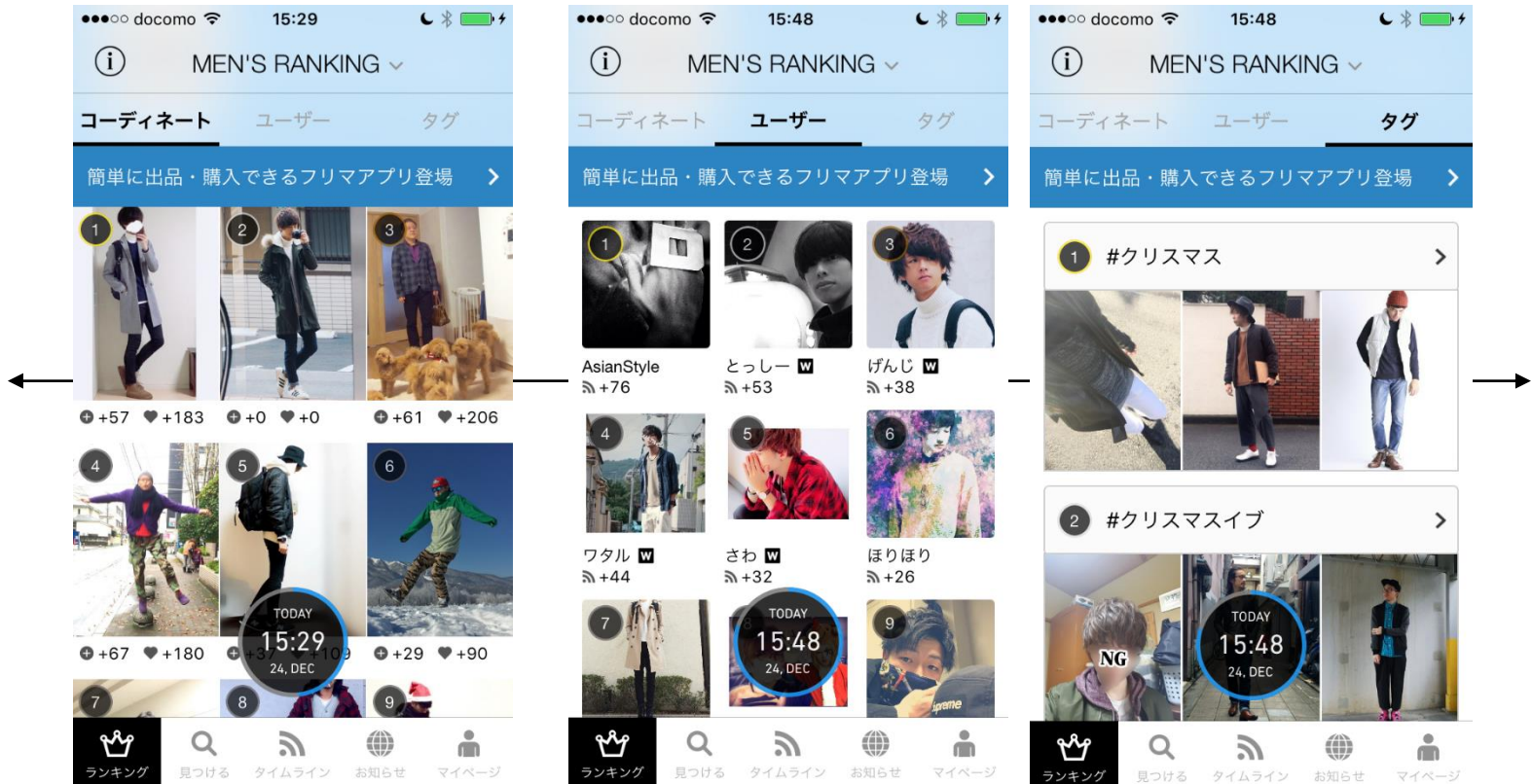
3. 入力は事例をコピー＆ペーストして入れて、必要箇所のみ編集する



- たくさんの事例を表示することを想定。スタンダードなものから特殊なものまで、多少、狙いを持った方がいい可能性あり
- そのため、お気に入りなど、事例をストックして、必要に応じて表示する機能があることが望ましい
- いい事例をコピー＆ペーストできるようにすることを想定。一部の文章だけコピー＆ペーストできるように設計することも想定

参考：複雑な情報レイヤーをモバイルでみせる好例

参考アプリ：「WEAR」



- 上記はスワイプで切り替えが可能